

## 環境に優しく安全・快適な次世代交通システムの研究開発・事業化を柏の葉地区で推進 「柏ITS推進協議会」設立に向け参加会員を募集開始し、説明会を開催

柏の葉アーバンデザインセンター(UDCK、所在地:千葉県柏市)をはじめとした9団体からなる「柏ITS推進協議会設立発起人」は、千葉県柏市・柏の葉地区において低炭素型交通都市・次世代型環境都市を実現するためのITSを活用した研究開発およびサービス事業化を進める「柏ITS推進協議会」の設立に向けて、参加会員の募集を開始しました。

柏の葉地区は、千葉県、柏市、東京大学、千葉大学が策定した「柏の葉国際キャンパスタウン構想」に基づき、次世代環境都市を目指した街づくりが進んでいます。環境貢献型の交通体系を目標のひとつに挙げ、UDCKを中心にペロタクシーやセグウェイ、スマートサイクル(コミュニティサイクル)など新しい移動交通の実証実験を行ってきました。2009年6月には、内閣府から全国4番目の「ITS実証実験モデル都市」に柏市が選定され、今後柏の葉地区において、自動車交通・公共交通機関・パーソナルモビリティを連携してCO<sub>2</sub>排出量・消費エネルギーの削減等を目指す取り組みや、安全・安心な次世代モビリティの可能性の検討・検証する各種事業が展開される予定です。

これらのITSを活用した実証実験事業の推進・支援を行う組織として「柏ITS推進協議会」を2010年2月に設立することを目指し、以下9団体が発起人となり、本協議会の設立メンバー(参加会員)を2010年1月25日まで募集します。

### 柏ITS推進協議会設立発起人(五十音順)

- |                   |                            |             |
|-------------------|----------------------------|-------------|
| ● 沖電気工業株式会社       | ● 東京大学新領域創成科学研究科           | ● 株式会社日立製作所 |
| ● 柏市              | ● 東京大学生産技術研究所先進モビリティ研究センター | ● 富士通株式会社   |
| ● 柏商工会議所          |                            | ● 三井不動産株式会社 |
| ● 柏の葉アーバンデザインセンター |                            |             |

なお、今回の参加会員募集にあたり、2010年1月14日にUDCKにて説明会を開催します。自動車メーカーやカーナビ・電機メーカーなどの民間企業、関係業界団体や大学などの研究機関、地元の交通・環境関係の企業・団体など、幅広い層からの参加を期待しています。説明会や本協議会についての詳細は、別添資料および柏市のWebサイトを参照ください。  
(<http://www.city.kashiwa.lg.jp/information/21-1423its/01.htm>)

#### \*ITSとは

Intelligent Transport Systems(高度道路交通システム)。渋滞、事故、大気汚染、高齢者利用など、道路交通が抱える様々な問題を、最先端の情報通信や制御の技術によって解決し、安全・快適で環境に優しい交通システムの構築を進めるため、各国が国家レベルのプロジェクトとして取り組んでおり、日本でも国土交通省、総務省、経済産業省、警察庁などが連携して研究開発を推進している。

#### \*柏の葉アーバンデザインセンター(UDCK)について

東京大学、千葉大学、柏市、三井不動産、柏商工会議所、田中地域ふるさと協議会、首都圏新都市鉄道の7団体が共同運営する公・民・学が連携した街づくり組織として、2006年11月に設立。センター長は北沢猛 東京大学大学院教授。つくばエクスプレス「柏の葉キャンバス駅」周辺を中心とする柏の葉地区を対象に、「環境・健康・交流・創造」をキーワードとする国際学術都市・次世代環境都市を目指した「柏の葉国際キャンパスタウン構想」の実現に向けて、都市計画の調査・策定・推進、社会実験、市民活動のサポート、情報発信等を行っている。

### 本件に関する問い合わせ先

#### 《一般の方の問い合わせ・申込先》

柏ITS推進協議会設立発起人・事務局  
柏市役所企画部企画調整課(斉藤、清水)  
TEL: 04-7167-1117  
MAIL: info-kkcc@city.kashiwa.lg.jp

#### 《報道関係の方の問い合わせ先》

柏の葉アーバンデザインセンター(UDCK)  
広報担当:小林、蛭川  
TEL: 090-3510-5586 / 04-7140-9686  
MAIL: ma-kobayashi@udck.jp

柏ITS推進協議会について

(1) 設立目的

ITSを活用し、柏の葉地区において「低炭素型交通都市」・「次世代型環境都市」を実現するための各種研究開発の推進、およびそれらの事業化・実用化に資する活動を行うことを目的とする。

(2) 事業内容

- ① ITSの推進に係る調査・研究開発の推進
- ② ITSの事業化に関する各種取り組みの支援
- ③ ITSの推進に係る情報発信および広報活動(シンポジウム、セミナー、見学会など)
- ④ その他、ITS事業の目的を達成するために必要な活動

(3) 組織体制

総 会： 会長および会計監事ならびに幹事の選出、規約の改正、事業計画および事業報告ならびに予算および決算の承認などを行う。年1回開催。

幹事会： 会員の入退会の管理、部会設置の承認、イベントの企画立案などを行う。1～2ヵ月に1回開催。

部 会： 研究開発の推進、事業化に向けた検討を行う。個別の研究開発テーマや事業化テーマごと等で複数の部会の設置を想定。随時開催。

(4) 会費

会員種別	組織規模等		会費
幹事会員	資本金3億円以上の企業ならびに従業員300人以上の企業		10万円/年
	上記以外の企業		5万円/年
	非営利団体(NPO、財団、社団等)		1万円/年
一般会員	資本金3億円以上の企業ならびに従業員300人以上の企業		5万円/年
	上記以外の企業	他地域に所在	3万円/年
		柏市内に事業所が所在	1万円/年
	非営利団体 (NPO、財団、社団等)	他地域に所在	1万円/年
		柏市内に所在	0円/年

※ 国・地方公共団体及び個人(学識経験者)の会費は、「0円/年」

※ 初年度(2009年度)は無料

(5) 申込方法

柏ITS推進協議会参加申込書に必要事項を記入の上、柏ITS推進協議会設立発起人事務局に電子メールにて提出。設立メンバーとして参加する場合は、2010年1月25日までに申込。本協議会設立後の参加会員は、随時受付。

(6) 説明会の開催概要

日 時： 2010年1月14日 ①10:30～11:30 ②13:30～14:30 (\*①、②とも同内容)

会 場： 柏の葉アーバンデザインセンター (柏市若柴字元堂178-3 柏の葉キャンパス駅前148街区3画地)

- 内 容： 1. 柏ITSの目指すべき方向性  
2. 柏ITS推進協議会の設立および進め方  
3. 今後のスケジュール 等

参加申込： 「柏ITS推進協議会説明会参加希望」と明記し、企業・団体名、所属、氏名、電話番号、希望時間(①または②)を記入の上、1月12日までに柏ITS推進協議会設立発起人事務局に電子メールにて申込。

## 添付資料 ②

### 柏ITSで事業化・実用化の検証を進める主な取り組みのイメージ（案）

#### ■ パーク&レールライド

高速道(常磐自動車道)利用者が都内道路の渋滞状況を確認し、柏ICで下りて柏の葉キャンパス駅(つばエクスプレス)周辺の駐車場に自動車を置き、鉄道への乗換移動を可能とする、情報配信システムや駐車場の整備。

#### ■ ITS駐車場

電気自動車の充電スタンド、パーク&レールライドのための満空情報配信・予約システム、周辺のイベント情報や渋滞情報などが確認できる電子地図掲示板、ICTによる場内誘導システム等を整備した駐車場。

#### ■ オンデマンドバス

携帯電話やパソコンなどで乗車予約ができ、所定の場所まで迎えに来てくれる、予約制乗り合いバス。バスの経済性や環境貢献性とタクシーの利便性を併せ持つ。

#### ■ ベロタクシー

環境に優しく楽しい、新たな交通手段としてベルリンで開発された、屋根付き三輪自転車タクシー。

#### ■ スマートサイクル(コミュニティサイクル、サイクルシェア)

自転車を地域で共有して利用する仕組み。地域内に複数の駐輪ポートを設け、各ポート間で自由に貸出・返却が行える。

#### ■ エコライド

ジェットコースターと同様に、高低差を利用して走る交通システム。車体に駆動用の動力装置が必要とならないため、運行における消費エネルギーやCO<sub>2</sub>排出量が大幅に抑えられる。

#### ■ LRT

Light Rail Transit(次世代型路面電車システム)。他の公共交通機関(鉄道、バス)との乗換連携や地域密着サービス、低床式車両や停留所のバリアフリー化などの特徴をもち、従来の鉄道に比べて低コストでインフラ整備、運営が行える。

#### ■ 次世代パーソナルモビリティ

セグウェイやウィングレットといった電動一人乗り二輪車など、CO<sub>2</sub>を排出しない環境に優しい次世代モビリティの地域利用。

